

事業所名

児童発達支援ポピー

支援プログラム（参考様式）

作成日

R7年

3月

20日

法人（事業所）理念		人々と共に生し、自己表現できる支援を										
支援方針		子どもたちが、ともに遊び、ともに笑い、ともに感じることで、相手が楽しいと自分も楽しいということを知ります。その気づきから相手の気持ちを考える場を作ります。『できるが増える』をモットーに子どもたちの可能性を引き出します。自分が夢中になれるものを一緒に探し見つけたものを糧に、自己表現が出来る種として大切に咲かせていきます。いつか花開くその時まで見守り続けます。										
営業時間（基本）	平日	12 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり					
	学休日	10 時	0 分から	16 時	30 分まで							
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	□児童の安全な生活を作り出すこと、健康な心と体を目指し、心身状態を確認、必要な対応を行う。小さなサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細かな観察を行う。登所時の検温は毎日行う。□日常生活や社会生活を営めるよう、それぞれの児童に適した身体的、精神的、社会的訓練を行う。□身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援する。□さまざまな活動を通して学習できるよう環境を整える。また、障がいの特性に配慮し、時間や空間を児童一人ひとりに分かりやすく構造化する。										
	運動・感覚	□日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。□自力での身体移動や歩行、移動など、日常生活に必要な移動能力の向上のための支援を行う。□保有する感覚器官（視覚、聴覚、触覚等）を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援する。□感覚の過敏や鈍麻を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。										
	認知・行動	□保有する感覚器官（視覚、聴覚、触覚等）を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う。□『環境から情報を取得』→『必要なメッセージを選択』→『行動』という一連の過程の発達を支援する。□物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、数量、形の大きさ、重さ、色の違い、空間・時間等の概念の形成を図ることによって、認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援する。□認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援し、認知の偏り等の個々の特性に配慮する。こだわりや偏食等に対する支援を行う。□感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害（奇声、異食、多動、躁鬱、自傷、他害等不適切な行為）の予防、及び行動障害から適切行動への移行が出来るように支援を行う。										
	言語 コミュニケーション	□具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつきから、言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。□話し言葉や各種の文字、記号、指差し、身振り、サイン、音声、触覚等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、意思の伝達の円滑化に向けての支援及び、環境の理解に対しての支援を行う。□友だちと物事や、話題の共有、関心を向ける力の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う。□障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う。										
	人間関係 社会性	□人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。□遊び等を通じて人の動きを真似することから、社会性や対人関係の芽生えを支援する。□感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。□周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したリールルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。□自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整、支援を求める要求ができるように支援する。□集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。										
家族支援		面談時の子育て相談、延長支援の実施をしています。		移行支援	学校や関連機関と支援に関わる情報交換を行なながら連携を取っています。円滑な情報提供が出来るように、必要に応じて移行支援計画書の作成を予定しています。							
地域支援・地域連携		地域飲食店、スーパー、コンビニエンスストアへの買い物等、児童が身近に感じる施設との交流実績があります。より多様な交流や連携の実現に向けて現在計画中です。		職員の質の向上	自立支援協議会・社内勉強会・虐待防止委員会・障害特性勉強会に参加しています。							
主な行事等		○平日…集団遊び、お絵かき、個人向けイベント活動等 ○土祝…お出かけ（近隣の公園、施設等）、調理活動、おやつ作り等 ○季節イベント…クリスマス会、節分祭り、プール遊び等										
		○年2回…避難訓練										